



医療安全(BLS)研修

職員向けの BLS 研修（心停止の早期判断、適切な胸骨圧迫方法・AED 使用方法等）を毎年開催しています。BLS (Basic Life Support) とは、「呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するため、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置」のことです。

今年度は 8/5～8/8 にかけて、多職種の職員および委託業者の方々が BLS の実技研修に参加しました。



まずは動画で
緊急時対応の様子を
チェック ✓

視聴した動画を参考にいざ実演

3名で1チームをつくり、①心臓マッサージ ②AED ③マスク換気の3つの役割をそれぞれ順に体験していきます。

マスク換気の手技は病院内かつ医療従事者でないとなかなか触る機会が少ないため、今年度は実演の前に実際に補助換気を使用するマスクを触る体験を取り入れました！
(教育看護師長 角 雅美)

全体の様子



実演場面一例



マスク換気体験



アレルギーエドクターの活動について



小児アレルギーエドクター(Pediatric Allergy Educator, 以下PAE)は、日本小児臨床アレルギー学会が認定したアレルギー専門の看護師・薬剤師・管理栄養士のことです。当院には6名のPAEが在籍し、医師をはじめ様々な職種と連携しながら患者さんやご家族をサポートします。喘息やアトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患患者は年々増えており、医療者だけでなく患者さんやご家族がアレルギー疾患のことをよく知り、正しい治療を継続していくことが治療の上で最も大切になってきます。その中で主な活動としては、アトピー性皮膚炎のスキンケアとして体の洗い方や軟膏の正しい塗り方、喘息の管理に必要な環境整備や吸入の正しい行い方、食物アレルギーの緊急時の対応やエピペン(アナフィラキシー対応薬)の打ち方などを患者さんやご家族に説明します。また、院内だけでなく三重県アレルギー療養指導研修にも関わり、学校関係者や他の医療従事者向けにアレルギー疾患に関する研修を行い、人材育成の活動をしています。

普段は外来や病棟での業務を行っていますが、ぜひお気軽に声をかけてください。一緒に病気のこと・生活のことを考えていきましょう。(小児アレルギーエドクター

植松 良太)



患者指導の様子



今月のみえツうちゃん

とってもきれいで
かわいい
ツうちゃんのぬり絵を
完成してくれました。

みなさまも、どしどし
応募してくださいね。

《かりん さん》



みえ ツうちゃん